

# ニュースクリップ & 映像教材

■「第1回教育フォーラム『ここから見える！未来教育〈21世紀の学力／コンピテンシー&情報リテラシー〉—子どもの学力を伸ばすICTの可能性—』

■平成18年度「教育情報化リーダ」検定試験を実施

■「JSISE 国際フォーラム～英国の学校でのe-Learningの展開～」東京・大阪開催

■「教育の情報化セミナー〈日英編〉」東京・関西開催

■「情報教育セミナー2006」

■「デジタル・アーキビスト講習会2006」

## 研究会情報

■「第1回教育フォーラム『ここから見える！未来教育〈21世紀の学力／コンピテンシー&情報リテラシー〉—子どもの学力を伸ばすICTの可能性—』

「子どもの能力開発をICTでどう支援できるか」について、事例を通じて学ぶことを目的に、小中学校・高等学校の教員、教育関係者を対象に、長野大学主催による標記シンポジウムが開催される。

〈日時〉

平成18年6月10日（土）13:30～17:00

〈会場〉

長野大学リブロホール（長野県上田市下之郷658-1）

〈内容〉

「国際学力調査トップ～フィンランド報告／コンピテンシーとリテラシー教育の現状」「子ど

もの学力をのばすICTの活用・実践事例（1）岐阜市（2）つくば市（3）長野市）他〈申し込み・問い合わせ先〉  
<http://www.joho.nagano.ac.jp/e-forum/>より申し込む。＊入場無料。

長野大学教育フォーラム実行委員会

TEL 0268-39-0001

■平成18年度「教育情報化リーダ」検定試験を実施

（社）日本教育工学振興会では、「校内のIT指導に必要な資質の目標や教員研修の成果を測る」、「IT指導力を有する方を幅広く育成する」ことを目的に、「教育情報化リーダ」検定試験を実施する。

〈試験実施日〉

平成18年6月18日（日）

〈出題範囲〉

情報モラルやセキュリティ・ウィルス対策、著作権などに関する

基礎的な知識／教科や情報教育におけるIT活用に関する知識・経験／校内における学校運営に関する校務や研修に関する内容や方法／コンピュータ、通信ネットワーク、ソフトウェアなどの教育利用に関する基礎的な知識・技術など

〈試験会場〉

東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、富山、広島、福岡  
〈問い合わせ先〉

教育情報化コーディネータ認定委員会（社）日本教育工学振興会内

TEL 03-5251-0751

■「JSISE 国際フォーラム～英国の学校でのe-Learningの展開～」東京・大阪開催

教育システム情報学会、ブリティッシュカウンシル他主催により、標記セミナーが東京と大阪で開催される。英国のe-Learningシステムの展開につい

## 資料紹介



**「諸外国及びわが国における『映画教育』に関する調査 最終報告書」**

財団法人国際文化交流推進協会  
2006年3月刊 A4判 67頁(第1巻)、  
91頁(第2巻)

本報告書は、昨年本誌5月号において紹介した「諸外国及びわが国における『映画教育』に関する調査 中間報告書」の最終報告として、まとめられた。

内容は、第1巻「映画教育に関する提言」、第2巻「映画教育の実践」の2巻で構成されている。

第1巻では、映画教育事業をさらに充実したものとし、推進していくための「今後の『映画教育』のあり方に関する提言」を、第2巻においては、現在、日本で行われている映画教育に関するさまざまな事例を紹介すると同時に、これから映画教育を実施しようとする人たちのための映画教育プログラム案が提示されている。

第2巻を目次から見ると、

1. 作品の鑑賞を中心とするプログラム

2. 作品の鑑賞+体験学習のプログラム

3. 小学校における映像教育～群馬県の試み～

となっており、東京国立近代美術館フィルムセンターやミニシアター「ユーロスペース」の紹介。2では、せんだいメディアテーク、金沢コミュニティシネマ推進委員会の「こども映画教室」、ジュニア映画制作ワークショップ(KAWASAKIしんゆり映画祭)の実践を伝えている。

日常的に多くの映像に接している現代の子どもたちにとって、芸術教育、メディア教育の観点からも、改めて「映画教育」の必要性を認識させる報告書となっている。

〈お問い合わせ先〉

財団法人国際文化交流推進協会  
電話03-5562-4422

ての報告他、詳細は以下の通り。

〈日時〉

東京会場 平成18年6月22日  
(木) 13:30～17:30

大阪会場 平成18年6月25日  
(日) 13:30～17:00

〈場所〉

東京会場 ブリティッシュカウ  
ンシル東京センター(東京都新  
宿区神楽坂1-2)

大阪会場 大阪大学中之島セン  
ター(大阪市北区中之島4-3-53)

〈対象〉

教育委員会、研究者、学校関係  
者、企業関係者他

〈内容〉

英国の現況報告に始まり、東京会場では、ホワイトボード活用英語教育のデモンストレーションなどe-Learningシステムの技術や開発について、大阪会場では、実際のコンテンツや教育場面での活用について議論を行う。

※同時通訳付き

〈定員〉

東京会場 定員60名

大阪会場 定員80名

※参加費無料、資料代別途。

事前に申し込みが必要。

〈申し込み〉

<http://www.jsise.org/kokusaika/apply.htm>より申し込む。

〈問い合わせ先〉

東京会場 <http://www.jsise.org/kokusaika/060622p.html>

大阪会場 <http://www.jsise.org/kokusaika/060625p.html>

■「教育の情報化セミナー〈日英編〉」東京・関西開催

ブリティッシュカウ  
ンシル、(社)日本教育工学振興会、教育情報化推進協議会主催により、標記セミナーが開催される。教育委員会、研究者、学校関係者、企業関係者を対象に、英国教育技能省と英国教育通信技術機構の担当責任者から、英国のICT教育の現状について報告がなさ

れる。詳細は以下の通り。

〈日時〉

東京会場 平成18年6月23日  
(金) 10:00～17:30

関西会場 平成18年6月26日  
(月) 10:00～17:30

〈場所〉

東京会場 上智大学中央図書館  
9階L-911(東京都千代田区紀  
尾井町7-1)

関西会場 グランキューブ大阪  
大阪国際会議場イベントホール  
A(大阪市北区中之島5丁目  
3-51)

〈内容〉

東京・関西会場共通 基調講演:  
英国DiES代表(教育工学戦略  
遂行執行長 ケビン・マクレ  
ン氏)他、英国ICT教育実態、  
ICT能力標準カリキュラム、活  
用状況、実態、効果、査察、教  
師教育、コンテンツ、予算など  
具体的な活動の報告。会場ご  
との、パネル討論。

※同時通訳付き。

〈定員〉

東京会場 定員150名

関西会場 定員200名

※参加費無料、資料代別途。

事前に申し込みが必要。

〈申し込み・問い合わせ先〉

(社) 日本教育工学振興会

TEL 03-5251-0751

<http://www.japet.or.jp/>

### ■「情報教育セミナー 2006」

(財) 学習ソフトウェア情報研究センターでは、「教育効果を高めるインターネット活用」をテーマに標記セミナーを開催する。

〈日時〉

平成18年8月1日(火) 10:00～17:00

平成18年8月2日(水) 10:00～15:00

〈会場〉

日本科学未来館7F みらいCANホール、イノベーションホール(東京都江東区青海2-41)

〈対象〉

小・中・高校教諭、教育行政関係者、教育関連団体関係者

〈内容〉

8月1日(火)

特別ゲスト「教育の未来について」毛利衛(日本科学未来館館長)、基調講演1「新しいIT戦略と文部科学省の基本方針」小川壮氏(文部科学省参事官)、基調講演2「諸外国の情報教育と展望」赤堀侃司氏(東京工業大学教授)、パネルディスカッション1「ここから始めるIT活用」コーディネーター堀田龍也氏(メディア教育開発センター助教授)、パネルディスカッション2「ユビキタス社会における学校と携帯電話の関係をさぐる」コーディネーター中川一史氏(金沢大学助教授)他、実践事例「おもしろ宇宙教室」丹

羽孝良氏(群馬県桐生市立南中学校)

8月2日(水)

パネルディスカッション3「授業におけるデジタルコンテンツの効果的活用」コーディネーター中川一史氏(同上)他、IT実践講座「携帯電話対応コメントカードDBシステムの活用」宮田仁氏(滋賀大学教授)

※両日ともに企業による展示あり。

〈定員〉

300名

〈参加費〉

5,000円。ただし、1日のみ参加は3,000円(資料代を含む)。

※学情研の研究会員は無料。

〈申し込み・問い合わせ先〉

<http://www.gakujoken.or.jp/ghp/seminer2006.html>

(財) 学習ソフトウェア情報研究センター

TEL 03-5919-3401

### ■「デジタル・アーキビスト講習会2006」

資料をデジタル化し、整理保存、それを活用するためのシステムづくりを行う中で、デジタル技術を身につけ、知的財産の創造、保護、管理、流通等についての知識を持った人材の養成が求められている。そのような能力を持ったデジタル・アーキビスト育成のため、特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構(申請中)では、標記講習会を下記の要領にて行う。なお、本講習会はデジタル・アーキビストとして必要な学習の一部を提供するためのもので、修了者はデジタル・アーキビストの資格を取得することもできる。

〈日時〉

平成18年8月1日(火) 10:00～17:00

平成18年8月2日(水) 10:30～15:00

〈会場〉

日本科学未来館7F(東京都江東区青海2-41)

〈対象〉

小・中・高校教諭、教育行政関係者、教育関連団体関係者、社会教育主事、司書、学芸員など。

〈内容〉

8月1日(火)

「デジタル・アーキビスト概論」後藤忠彦氏(岐阜女子大学副学長)、「デジタルアーカイブ開発—文化情報処理」谷口知司氏(岐阜女子大学教授)、「文化情報の管理—メディアと著作権」坂井知志氏(常磐大学教授)

8月2日(水)

「文化情報の管理—博物館における文化情報の管理と流通」井上透氏(国立科学博物館情報・サービス課長)、「デジタル・アーキビスト実習」久世均氏(岐阜女子大学教授)

〈定員〉

100名

〈参加費〉

5,000円(資料代を含む)。

〈申し込み締め切り〉

平成18年7月14日(金)

〈申し込み・問い合わせ先〉

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構(申請中)(財) 学習ソフトウェア情報研究センター内  
TEL 03-5919-3403

## 短 信

■岩波映像株式会社は、本社事務所を下記へ移転した。

〒112-0002 東京都文京区小石川2-1-13-205 後楽園ビューハイツ

TEL03-5689-2601(変更なし)

FAX03-5689-2685(変更なし)